| 平成29年度第３回まちの再生・活性化委員会　会議録 | |
|---|---|
| 日時 | 平成30年３月10日（土）15：30～17：15 |
| 開催場所 | 野七里地域ケアプラザ　多目的ホール１ |
| 出席者 | 委員：吉田(敏)委員長、豊田委員、内田（克）委員、別府委員、芦川委員、<br>古川委員、岡野委員、森長委員、難波委員、鈴木委員、内田（正）委員、<br>高橋（勝）委員、井川委員、小池委員、宮崎委員、亀梨委員、山口委員、<br>高橋（理）委員、福島委員、小林委員、吉田（勲）委員、見上委員<br>＜事務局＞<br>栄区区政推進課（４名）<br>政策局政策課（２名）<br>横浜プランナーズネットワーク（３名）<br>＜傍聴者＞<br>５名 |
| 欠席者 | 大原委員、辻委員、川崎委員、三宅委員、森委員、齋藤委員、森田委員、吉井委員 |
| 説明・報告事項 | 大原座長が欠席のため、吉田（敏）委員長が座長を務めた。<br>１．今年度の振り返り<br>・資料に基づき事務局から概要説明。<br>・各分科会リーダー等から補足説明。<br>２．来年度に向けて<br>・資料に基づき事務局から概要説明。 |
| 協議事項<br>意見交換 | **１．今年度の振り返りについて**<br>●旧庄戸中学校後利用分科会<br>・自分たちができると思うことを活用案（【資料１】裏面のとおり）として、積極的に盛り込んできた。やることを前提に、事業化できるという気持ちで取り組んできた。それができる民力のある地域だと思う。<br>・地域のことは地域が一番理解している。原動力は人であるので、地域がまとまることが大事。その為には検討してきた内容を文書としてまとめて、地域に伝えることが重要である。<br><br>●地域交通分科会<br>・要望事項、バスルート検討案がまとまり、今年度は大きな成果があった。<br><br>（1）バスルート案の今年度のまとめについて<br>・検討案④（当委員会で表現を修正した「第５回分科会後に提案された検討案」）は第５回分科会以降に提案された。この案は分科会で検討していないので、H29年度のまとめとすることは適切ではないのではないか。<br>⇒検討案であり、絞る段階ではないので案はいくつあってもよい。<br>⇒検討案③のバリエーションの一つである。<br>⇒来年度の初回分科会で検討することで十分ではないか。 |

| | |
|---|---|
| | ⇒（結論）次のとおりに修正するとともに、ホームページには修正したものを掲載することを委員会として了承された。<br>1)バスルート検討案のタイトルの修正<br>現：＜検討案＞分科会として地域の利便性を重視した４案<br>修正：＜検討案＞分科会として地域の利便性を重視した３案<br>＋第５回分科会後に提案された検討案<br>2)バスルート検討各案のタイトルの修正<br>現：検討案④<br>修正：第５回分科会後に提案された検討案<br><br>（2）移動状況に関するアンケート調査結果について<br>・町別、年齢別等でクロス集計の作業中である。その結果は、来年度に報告したい。<br><br>●こども・子育て分科会<br>・ＰＴＡ役員等の意見集約にあるように、若い世代は自力で行動しているので、交通の利便性などは問題として感じていない。<br>・来年度以降は、若い世代と一緒に旧庄戸中学校の後利用を考えるなど、検討の場に参加してもらう工夫をしたい。<br>・H30 年度は地区社協との連携も強めるなど、取り組みを実行できる体制をつくりたい。地区社協は「こどもカフェ上郷」を 3/29 に開催する。これは、昨年から地域と上郷中学校の協働事業を検討してきた結果である。<br>・この地域は教育の視点でみると素晴らしく、子供たちを呼び込める地域である。中学校を起点にして取り組みを伸ばしていきたい。<br>・地元で取り組む事業があると若い世代の転入も見込むことができる。<br>・来年度の中学校ＰＴＡの代表として当委員会に参加していただける委員は、上郷東連合町内会内に住んでいる方の中から選出をお願いしている。<br>・来年度は、小学校ＰＴＡ役員の方々も分科会への参加を誘ってみたい。<br>・今後若い世代のグループで、地域の魅力をどのように発信するかを考えていく必要があると思う。<br><br>**２．平成 30 年度の取組について**<br>・地域に本委員会の検討内容がどの程度伝わっているか心配である。来年度は、パンフレットの発行など広報・啓蒙活動に力を入れて欲しい。<br>・検討事項もまとまってきたので、地域に説明しやすい状況になったと思う。広報活動は来年度の大きなテーマである。<br>・バス路線再編成については、上郷公田線沿線の他地区の方々とも意見交換したい。同じ考え方であればバス事業者に合同で要望が出せると思う。 |

| | |
|---|---|
| | ・地域の魅力は現在でも十分あると思う。転入してきた子育て世代に、この地域を選択した理由を聴いてみるのも良い。<br>・来年度の委員会、分科会、事務局体制について<br>⇒H30 年度の枠組みは、要綱に基づき今年度と同様に考えている。<br>委員会は、地域の代表者で構成し、分科会は、趣旨をご理解いただき協力していただける方で委員長の承認があれば参加できることとなっている。そのため、現委員で引き続き分科会活動に参加していただける方がいればありがたいので、是非手を挙げていただきたい。<br>事務局は引き続き区が行う。<br><br>＜まとめ＞<br>・広報活動は次年度の大きな課題である。<br>・そのため、委員が検討してきた内容を明確にし、文書として作成する。<br>・その文書を委員会内で合意しておくとともに、その内容を地域の方々に伝えていくことが重要である。 |
| 資料 | ・次第<br>・【資料１】平成 29 年度上郷東地区まちの再生・活性化委員会<br>旧庄戸中学校後利用分科会の活動について<br>・【資料２－１】平成 29 年度上郷東地区まちの再生・活性化委員会<br>地域交通分科会の活動について<br>・【資料２－２】移動状況に関するアンケート調査業務委託　単純集計<br>・【資料３】平成 29 年度上郷東地区まちの再生・活性化委員会<br>こども・子育て分科会の活動について<br>・【資料４】上郷東地区まちの再生・活性化委員会<br>各分科会の活動報告・平成 29 年度まとめ（H29 年 6 月～H30 年 2 月）<br>・【資料５】上郷東地区まちの再生・活性化委員会<br>平成 30 年度の取組について（案） |